

JAしまねひより

2024
December
Vol.105

SNSで旬な情報を投稿しています



10TH
ANNIVERSARY
おかげさまで統合10年

特集

地元食材で
イタリア料理を楽しむ



みつけた
しまねのファーマーズ
Shimane farmers

吉田 淳一さん
[石見銀山地区本部]

みーつけた

Shimane Farmers しまねのファーマーズ

よしだ じゅんいち
吉田 淳一さん(37歳)

今月は石見銀山地区本部。大田市温泉津町で和牛繁殖と水稲栽培に取り組んでいる吉田淳一さんにお話を伺いました。

昔から続く循環型農業

大田市の南西に位置する温泉津町井田地区。山々に囲まれたこの地域で、和牛繁殖と水稲栽培を行っている吉田さん。このあたりでは、昔から牛を飼いな



吉田さんの牛舎。15頭程度で頭数維持をすると子牛に十分な広さを確保できると言います。

がら米を育てる複合経営が続いています。田んぼで収穫した稲わらを牛の餌として与え、また、その牛の糞を田んぼの堆肥として利用し米を育てる。身近なものを循環させながら行う農業で、無駄のない資源の活用と低コストのメリットがあります。

吉田さんは高校卒業後、農機具の会社に就職。農家に生ま

れ、小さい頃から農業が身近な存在であった吉田さんは、仕事で色々な農家を訪問しているうちに、改めて農業に興味がわいてきたそう。会社を辞め本格的に農業を始める際、親戚や近所の人からは「それはいいことだ!」と応援されたと言います。小さい頃から家の手伝いをしていたため、大まかなことは身に付いていた吉田さん。親戚の家で牛の繁殖について1年間研修し、その後は認定新規就農者として独立しました。

牛の出産も1人で対応

365日休みなく作業がありますが「それにはもう慣れました」と笑う吉田さん。お産の際にも緊急時以外は基本的に1人で対応していると言います。出産を控えた母牛がいると、監視カメラで様子を



もりもりとエサを食べる子牛を見守る吉田さん

見ながら過ごそう。破水の時間から大体の出産時刻を予測し、もし産まれてしまっていた場合でも、録画映像で初乳を飲んだか、どんなふうに産まれたかなどを確認。

「無事に産まれた時はやっぱり安心します」と吉田さん。生後9ヶ月頃に出荷されていくまで、ストレスなく育てていきます。

のびのびと育てることがいちばん

現在、母方の実家の敷地で雌牛15頭と子牛10頭を育てている吉田さん。意識しているのは、牛をストレスなく過ごせるようにすること。「食べるだけ食べさせて、のびのびとさせています」と、出荷が近い子牛には広い敷地にわらをたっぷり敷き、居心地を良くしています。牛同士でも必要最低限の距離を保つ必要があります。狭い牛舎で多くの牛が過ごすスト



牛たちにエサを与える吉田さん



レスで発育に影響が出てしまうこともあるのだとか。

助け合える組合の仲間は強い繋がり

吉田さんが所属する「温泉津町和牛改良組合」は、現在8軒の生産者がいます。以前から良い連携が取れていて、お互いに相談し合うこともしばしば。県の共進会の際には、バスをチャーターして



「仕事は体力勝負」と話す吉田さん

応援に駆けつけ、炊き出しでご馳走作りをするメンバーも。もちろん、その際には地元で留守番をしてくれる人もいて、信頼関係がしっかりと築かれています。そんなメンバーの中で最年少の吉田さん。「高齢の方のところに、分娩や手術の応援に行くこともあります。自分は3人分くらいの力で引っ張りますから(笑)」と、地域の中で協力的に関わっています。

牛肉を食べることが楽しみ

食べることが大好きだという吉田さん。特に「毎月1キロは食べています」と、和牛に関しては一般の人よりも食べる量や頻度も多いと自負しています。毎月、牛のセリやヘルパーとして手伝いに行く島根中央子牛市場では、会場で販売されている牛肉を必ず買って帰るそ

う。「まずは自分が食べて、肉の消費を増やさないと、我々に恩恵がありませんから。皆さんにも、できれば毎月1パックでも牛肉を食べてほしいです」と笑顔で語ります。

牛も米もバランス良く続けていける農業を

牛を大きく育てる方法や、美味しい米を作る方法は、もつと研究して手間を掛ければきつと見つかるはず。しかし、吉田さんは「変わらない方法を維持すること」に重きを置いています。それは、1人で複合経営を上手く回していくため。どちらか一方だけに専念することができません。

中山間地としては広い面積の6・8ヘクタールの田んぼを管理している吉田さん。新しい品種である「つきあかり」にも挑戦し、田んぼごとに品種を変えたり、田植えの時期をずらしたりすることで、年間の作業が被らないように工夫しています。近年の異常気象や増える害虫にどう対処していくかが大きな課題。また、その一方で、「牛に関しては、変わったことをしない方が一番良い」と、むやみに餌を変えたりはせず、今後も現状維持で今の方法を続けて



島根中央子牛市場で販売される「しまね和牛」。吉田さん曰く「牛肉を食べることは使命」なのだそうです。

いくことを目標にしています。

吉田さんは「もちろん、牛も米も良いものを作ることを目指していますが、それには適度なバランスが必要」と話します。複雑で狭い土地が多く、なかなか効率の良い農業ができない中山間地だからこそ、2つの農業を組み合わせ、この地域なりのスタイルを保つ必要があります。「組合の仲間たちと協力し合いながら、品質の向上を図っていききたい」と、地元農業の維持や発展に貢献していく若い力に、今後も期待がかかります。



生まれて間もない子牛

共進会で子どもが審査員に！

吉田さんが所属する温泉津町和牛改良組合では、同組合が開く共進会に地元小学生を招き、牛を品評してもら



らう「こども審査」を行っています。実際に児童が牛を見て触り「まんまるおめめで賞」「からだがおっかいで賞」などと命名し、お手製のメダルで表彰。子どもたちに地元の畜産に親しみをもってもらおうと毎年恒例の行事になっています。



◀こども審査で表彰を受ける吉田さん

プチっと情報！

料理 **を** 楽しむ



「ただこの国で生産する」という考えの「国消国産」をキーメッセージに国産・
で10月下旬には、県内の有名イタリアンシェフが作る地元食材をふんだんに使っ
て提供し来場者の皆さんに振る舞いました😊
詳細は JA しまねホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください！



大山芳醇豚と 椎茸のピアディーナ

レシピ
考案

Omaggio da Konishi

松江市東朝日町 216-8

使用食材 豚ロース、椎茸、たまねぎ、きゅうり など

石見ポークのロースト パプリカソース (付け合わせ 椎茸のマリネ)

レシピ
考案

里山イタリアン AJIKURA

邑智郡邑南町矢上 3123-4

使用食材 豚肩ロース、パプリカ、ブロッコリー、椎茸 など



猪サルシッチャと 栗の仁多米リゾット

レシピ
考案

KANUKA PARK

雲南市木次町湯村 259-1

使用食材 猪ソーセージ、白ねぎ、米、栗 など

※猪ソーセージは市販のソーセージで代用 OK !



もホームページで公開中です ✨ ぜひ島根県産の農畜産物を使って
<https://ja-shimane.jp/archives/5265/index.html>



地元 食材

で イタリア

JA しまねでは、JA グループが提唱する“私たちの国で消費する食料は、でき
地元産の農畜産物の消費拡大や農業への理解増進に取り組んでいます。この一環
た本格イタリアンが味わえるイベント「Shimane × Italy」に JA しまねから食材
今月号は「Shimane × Italy」で提供した料理をご紹介します ✨ 材料や作り方などの



島根県産和牛肉 ボロネーゼスパゲッティ

レシピ
考案

Pino Rosso

鹿定郡津和野町後田口 284

使用食材 牛ひき肉、ホールトマト、たまねぎ、にんじん など

高津川産鮎のスパゲッティ

レシピ
考案

STAGIONE

益田市駅前町 17-1

使用食材 鮎、白ねぎ、ゆずの皮、きゅうり など



浜田市弥栄町の白味噌を使った 挽き肉と島根野菜の クリームスパゲッティ

レシピ
考案

Restaurant anno

浜田市三隅町岡見 661-1

使用食材 椎茸、たまねぎ、水菜、パプリカ、青ゆずの皮 など



レシピや作り方の詳細はこちらから!

掲載しきれなかったレシピ
作ってみてくださいね ♡

J Aしまねの石川寿樹組合長ら本店常勤理事は、J A自己改革の一環として、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJ A運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。



現場の声を
ききたい

組合長が行く!

巡回の様子を収めた
動画はコチラから

今回の
訪問先

- J Aしまね西いわみ地区本部管内
- 有限会社大場ぶどうファーム
- 株式会社田原牧場



株 田原牧
場は、6棟の
牛舎で繁殖牛
185頭と育
成牛、子牛を
飼養する他、
7ヘクタール
で飼料作物を
生産。高校生
のインターン
シップを受け

す。大場さん
とは、経営概
要や栽培する
「デラウェア」
の加温比率、
今年産ブドウ
の生育状況・
販売価格、鳥
獣被害などに
ついて意見交
換しました。

今回は、有限会社大場ぶどうファーム、株式会社田原牧場を石川寿樹組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の“生の声”を伺いました。
有限会社大場ぶどうファームは、益田地区国営農地開発地で「デラウェア」や大粒系ブドウ「シャインマスカット」「ピオーネ」を生産。周年的に作業を得るため加工用ブドウ生産に取り組み、島根ワイナリーに出荷しています。同社代表の大場耕造さんはJ Aしまね西いわみぶどう部会の部会長を務めており、同地区本部管内のブドウ栽培を牽引しています。大場さんとは、経営概要や栽培する「デラウェア」の加温比率、今年産ブドウの生育状況・販売価格、鳥獣被害などについて意見交換しました。



大場さん（前列左から2番目）のシャインマスカット園で石川組合長らと



大場さん（右から2番目）から取り組み概要などの説明を受ける石川組合長ら

入れるなど担い
手育成にも取り
組んでいます。
同社代表の田原
正太さんは、飼
料価格の高止ま
りや子牛価格の
低迷など非常に
厳しい状況が長
期的に続してい
ると話し、これ
を踏まえて現在
の経営状況や県
有種雄牛「暁之
藤」にかかる期
待、配合飼料・
粗飼料の価格動
向、しまね和牛
の消費拡大など
について意見を
交わしました。
田原さんは「子
どもたちが和牛
肉を食べる機会
が少なくなっ
ているため、J A
のイベントなど
で食べる機会を
作ってもらいた
い。また、円滑
なやり取りのた
め専門知識が必
要な畜産職員を
長く配置させて
ほしい」と要望
しました。

入れるなど担い
手育成にも取り
組んでいます。
同社代表の田原
正太さんは、飼
料価格の高止ま
りや子牛価格の
低迷など非常に
厳しい状況が長
期的に続してい
ると話し、これ
を踏まえて現在
の経営状況や県
有種雄牛「暁之
藤」にかかる期
待、配合飼料・
粗飼料の価格動
向、しまね和牛
の消費拡大など
について意見を
交わしました。
田原さんは「子
どもたちが和牛
肉を食べる機会
が少なくなっ
ているため、J A
のイベントなど
で食べる機会を
作ってもらいた
い。また、円滑
なやり取りのた
め専門知識が必
要な畜産職員を
長く配置させて
ほしい」と要望
しました。

入れるなど担い
手育成にも取り
組んでいます。
同社代表の田原
正太さんは、飼
料価格の高止ま
りや子牛価格の
低迷など非常に
厳しい状況が長
期的に続してい
ると話し、これ
を踏まえて現在
の経営状況や県
有種雄牛「暁之
藤」にかかる期
待、配合飼料・
粗飼料の価格動
向、しまね和牛
の消費拡大など
について意見を
交わしました。
田原さんは「子
どもたちが和牛
肉を食べる機会
が少なくなっ
ているため、J A
のイベントなど
で食べる機会を
作ってもらいた
い。また、円滑
なやり取りのた
め専門知識が必
要な畜産職員を
長く配置させて
ほしい」と要望
しました。



田原牧場の牛舎で田原さん(前列中央)と石川組合長ら



田原牧場の牛



田原さん（右）と意見を交わす石川組合長

組合長から一言



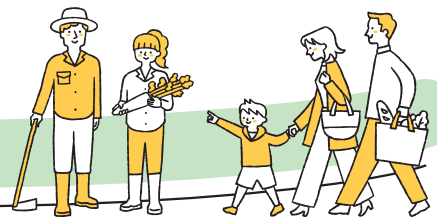
今回は西いわみ地区本部管内に出かけ、いずれも益田地区国営農地開発地内の2か所の法人を訪問した。

最初の訪問先は、有限会社大場ぶどうファームの大場耕造さん（49）。大場さんは、現在、西いわみぶどう部会の部会長を務められ、デラウェア121aをはじめ、シャインマスカット45a、ピオーネ26aの他、加工用ブドウを220a栽培されていた。時あたかも、シャインマスカットの出荷の最盛期。お困りのことはありませんかとの問いに、簡易なビニール被覆のため、カラスによる食害に頭を悩まされているとのことであった。

次に向かったのが、同開発地内の株式会社田原牧場。代表の田原正太さんは37歳の若手経営者で、農事組合法人益田市堆肥センターの組合長も兼務され、家族と雇用従業員らと繁殖牛185頭を飼養。モットーは、購買者から求められるしまね和牛生産のため、日々の飼養管理を徹底し、1年1産を実現しているとのこと。また、飼料の高止まりや販売価格の低迷により厳しい経営状況にあるが、そうした中、当J Aの定期貯金キャンペーンの記念品に牛肉を活用してもらい、励みになっているとのことであった。

組合長より一言
ミスト機の
回る牛舎や
秋暑し





topics 1

長年の交通安全活動に県知事から感謝状



JAしまねとJA共済連島根は11月8日、江津市で開かれた第60回島根県交通安全県民大会で、交通安全功労者団体として島根県知事から感謝状が贈られました。

当日は、交通安全意識の高揚や交通事故の防止に尽力したとして、21人の個人と3団体に感謝状が授与。表彰3団体を代表し、当JAいわみ中央地区本部の佐々木豊本部長が感謝状を受け取りました。佐々木本部長は「今回このように表彰いただいて、引き続き安心安全な地域づくりに取り組んでいこうと気持ちを新たにしたい」と話しました。

当JAとJA共済連島根は、交通安全器材の寄贈や中学校・高校を対象とした交通安全教室の開催などを通し、安心安全に暮らせる地域づくりに取り組んでいます。今年度はカーブミラー274基、ポールコーンガイド9本、反射たすき1万本、反射キャッチバンド1万2000本、反射材グッズ1万5000個を寄贈しました。



石原恵利子副知事(左)から感謝状を受け取る佐々木本部長(右)

topics 2

JAしまね女性部とJAグループ役員が意見交換会を開催



JAしまね女性部は10月22日、出雲市の当JA出雲地区本部でJAグループ役員との意見交換会を開きました。女性部役員13人が参加し、今年度の活動やJAの事業について活発に意見を交わしました。

女性組織の活動強化とJA事業運営への理解促進、女性部員の生活に根差したJAの取り組みを求めることを目的に毎年開催しています。

意見交換会では「イネカメムシ発生による影響やJAとして今後の対策・対応を聞かせてほしい」「安価で人間ドックが受診できるのはどのような仕組みなのか」「廃棄されるタマネギの加工や再利用を検討しているか」など、さまざまな意見があがりました。

また、JAが取り組む米粉事業の方針について質問があり、当JAの石川寿樹組合長は「米粉の原料米を作っても生産者メリットが出せるよう加算金の上乗せを国や県に要請したり、JA独自の支援を考えたりしながら原料米生産を推進していく」と応えました。



活発に意見を交わす女性部員とJA役員ら

topics 3

令和6年度島根中央子牛共進会を開催



JAしまねは10月25日、松江市の島根中央家畜市場で令和6年度島根中央子牛共進会を開きました。県内東部地区から選抜された雌子牛36頭が出品され、改良の成果や生産者の飼養管理技術を競い合いました。

子牛は月齢順に第1区と第2区に区分。各区の首席から選ばれるグランドチャンピオンに雲南市の門脇久幸さんの出品牛「さち」号が、第2区の首席に奥出雲町の石原誠さんが出品した「あんず」号が選ばれました。

グランドチャンピオンの「さち」号は第1区に出品。同区の審査主査を務めた島根県畜産技術センター育種改良研究部長の安部亜津子さんは「『さち』号は特に子牛らしい伸びやかさが、輪郭が鮮明で品位にあふれた牛であった」と講評。門脇さんは「一度はグランドチャンピオンを取りたいと思っていたので感激している。今後の励みになる」と受賞を喜びました。

その他の主な受賞者は次のとおり。

- ◆第1区▽次席＝石原稔（奥出雲町）▽三席＝福島武雄（斐川町）▽四席＝倉井毅（安来市）▽五席＝勝田律江（奥出雲町）
- ◆第2区▽次席＝堀尾修治（奥出雲町）▽三席＝原田敦子（奥出雲町）▽四席＝合同会社三日月（出雲市）▽五席＝藤原義行（奥出雲町）



グランドチャンピオンに輝いた門脇さん(左)の愛牛「さち」号



想いをひとつに✿ しまねの女性部！

JA女性組織3か年計画

「JA女性 想いをひとつに かなえよう✿」の実践3年目です。

つながろう✿

まもろう✿

かかわろう✿

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

やすぎ女性部

つながろう✿

仲間と・地域と・他組織と・次代と

JAしまねやすぎ女性部は、5支部とフレッシュジュニアズ部会で活動しています。

2年前に『走らない、声を出さず、笑う』の3つができる運動会を初めて企画し、今年もJAしまねやすぎ青年連盟の皆さんと合同で行いました。種目はラジオ体操や人生ゲーム、タワーマンシヨン建築作業などです。今年も特別ルールを設けたモルックを行いました。走らない運動会ではありませんが、最後の綱引きで力が入る運動会となりました。

今後も部員全員が楽しく活動できることを企画して、仲間や地域との繋がりを大切に活動していきたいです。



一所懸命青年連盟

JAしまね出雲青年連盟

地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

まるおか 丸岡 亮介さん



JAしまね出雲青年連盟(以下、農青連)の丸岡亮介さん(29)は出雲市大社町で「シャインマスカット」を中心に60アールで栽培しています。今年で就農2年目。一切の妥協をしない栽培で「食べる人に感動を与えるブドウ作り」に取り組んでいます。出雲ぶどう部会にも所属しており、20〜30代の生産者がわずか6%しかない同部会にとって、丸岡さんは貴重な存在となっています。丸岡さんは「ブドウの栽培が楽しい。食べていただく方の顔を想像しながら栽培を続け、喜んでもらえるブドウを作りたい」と思いを語りました。また、周りの先輩農家に良い「デラウェア」の作り方を教わりながら、令和7年から「デラウェア」栽培にも挑戦する考えです。現在は、大社支部の役員として、農青連活動に積極的に参加。丸岡さんは「新規で入る盟友が年々少なくなってきたので、活動を通じて盟友との関係を深め、助け合える盟友を今後も増やしていきたい」と話しました。

お知らせ

令和6年産島根米の追加金支払について

J Aしまねでは、ご出荷いただいております令和6年産島根米について、取引先のご理解もいただき、12月3日開催の理事会にて追加金をお支払いすることを決定いたしました。

J Aしまねにご出荷いただきました生産者の皆さまには、12月12日に全銘柄一律1,200円/60kgの追加金をお支払いいたしました。(ただし、個別買取米穀は除きます)

令和7年産でも引き続き高品質な島根米の生産に向けた取り組みをお願いいたします。



新テレビCMができました!

J Aしまねは島根県産農畜産物の消費拡大や国消国産のPRを目的とした新テレビCM「島根県産をあなたのもとへ」を作成しました。T S Kさんいん中央テレビを中心に放映中です!

今回は私たちの「食」を支えてくれている生産者の皆さんに出演いただき、仕事に向き合う姿や生の声をお届けしています。

CMの他、約3分間のショートムービーもJ Aしまね公式YouTubeチャンネルで公開していますのでぜひご覧ください😊❤️



CM・ショートムービーの
視聴はこちらから!



YouTube



理事会情報 (12月3日開催)

【協議事項】

- ①六日市カントリーエレベータ修繕に係る総代会決議事項・理事会承認事項の変更について
- ②令和6年産島根米の追加金について
- ③令和7年産島根米生産に係る考え方について(品種別作付計画)
- ④J A S T E Mシステム基盤更改にかかる県移行実施計画書の策定について
- ⑤余裕金運用規程の改正について
- ⑥「新たな運営体制」の検討について
- ⑦第4次中期経営計画の策定について
- ⑧令和6年度末決算見込(第1次)について
- ⑨中間期ディスクロージャー誌2024について
- ⑩大口貸出について①
- ⑪大口貸出について②
- ⑫自動車運行管理規程の一部改正について
- ⑬第11回通常総代会の開催について
- ⑭役員選考について
- ⑮現行人事制度の残課題整理に伴う職員就業規則等の一部改正について



JAしまね西いわみ地区本部 年金友の会「寿ロード」

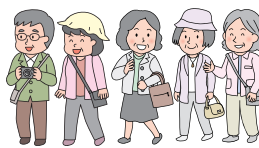
JAしまね西いわみ地区本部は11月11日から1泊2日の旅行、年金友の会「寿ロード」を実施しました。

天候にも恵まれ管内各地から100人の会員の方に参加いただき、大型バス3台に分乗し熊本県内の観光地を巡りました。

初日には、2016年の熊本地震で崩落し5年の歳月をかけて復旧工事を終え、全長525メートル、最大橋脚高97メートルの巨大な橋として生まれ変わった「新阿蘇大橋」の雄大な姿を見学しました。



翌早朝ホテルを出発した一行は、阿蘇屈指のパワースポット「阿蘇神社」を詣で、疲れ気味の身体にパワーをもらい、武者返しの異名を持つ石垣に佇む日本三名城の一つ「熊本城」へと向かいました。参加会員の方からは「毎年この旅行を心待ちにしています。元気でいる限り参加したい」といった意見もあり、バスの中での会話や宿泊先での宴会も盛り上がり、恒例寿ロードの旅を満喫していただくことが出来ました。





JAしまね年金友の会津和野支部 第4回年金受給者大会開催

JAしまね年金友の会津和野支部（齋藤勲支部長）は、冬の到来を告げる冷たい雨が降る11月28日、津和野町民体育館において第4回年金受給者大会を開催しました。

開会にあたり齋藤支部長は「年金の振り込みをJA津和野支店に指定している方が約800人、津和野町内の年金受給者の約4人に1人がJAで受け取っており、我々会員の年金振込総額約9億6千万円が津和野支店に振り込まれている。健康を維持するためにはいろいろな会合に出て、友達やサークルの人たちと会話することが健康寿命を延ばす秘訣と言われており、自分自身元氣であると同時に、一人でも多くの方が我々と同じJAで年金を受け取るよう勧めていきたい。人生100年時代、お互い100歳を目指して頑張りましょう」と挨拶しました。

また、JAを代表して西いわみ地区本部の田村清己本部長は「皆さんは元氣があり、家庭でも地域でも現役で活躍されていると思う。今、津和野支店は貯金残高100億円を目指して頑張っている。年間の年金振込額は全体の約1割を占めており、ご利用いただきながら少しでも目標に近づけていきたい。今日は十分に楽しんでいただき、健康に留意し元氣にお過ごしください」と挨拶しました。

続く来賓の挨拶で下森博之津和野町長は、町内のJA2支店と『高齢者の見守りに関する協定』を締結し、協力して高齢者の安心した暮らしを見守っていく方針であることなど町政の動きに触れ、「今日のこの大会を大いに楽しんでいただき、また明日からの生活の糧にしてください」と願っています」と述べられました。

松浦利幸支店長がこれまでの活動報告を行い、任期満了に伴う役員の見守りを齋藤支部長の進行で協議し、事務局を含む現在の役員全員が再任されました。

アトラクションでは演劇倶楽部「花車」による舞踊ショーが行われ、

最後に閉会の挨拶を地元中村力理事が行い大会の全日程を終了しました。



総勢150人の会員の皆さんが出席。



来賓 下森博之津和野町長より祝辞を頂戴しました。



JAを代表して田村清己本部長挨拶。



開会にあたって齋藤勲支部長挨拶。



フィナーレは中国四川省の伝統芸能「変面」、会場は大いに盛り上がりました。



歌や踊りを楽しみました。



黄玉柚子初出荷・搾汁作業が始まる

美都町柚子生産者組合（齋藤正明組合長）では、夏場以降の着果状況等の確認を踏まえ、11月初旬から今年産の黄玉柚子の出荷を受け入れることとし11月7日から搾汁作業を開始しました。

金谷地区から美都町全域に広がった柚子の産地は県内最大となり、現在2万本を超える成木から隔年結果等着果量は変動するものの、平均で約150トン（年）程度の搾汁用黄玉が出荷されています。

トゲを持つ柚子の収穫作業で最も注意を払わなければならない「傷」、生産者間には当初の申し合わせ「収穫の際は1つ1つ丁寧に摘み取る」とが受け継がれています。

集荷所に持ち込まれる黄玉柚子も荷受け担当者が検品し、搾汁に向かうライン上で再度傷等の有無をチェックしています。（傷や割れのある果実は洗浄の際に果実内に水が混入するため取り除きます）

J Aしまね西いわみ地区本部営農経済部指導販売課では、最も出荷が集中する時期を11月20日頃としており、このピーク時の日量を約10トンに想定し、12月中旬の荷受け終了までの総出荷量を100トンと見込んでいます。

搾汁された果汁の大部分は殺菌等の工程を経て一旦冷凍保存され、隣接する株式会社みとにおいて、お馴染みのゆずっこや美都ポン酢等の製品に加工され、市内外のスーパー等小売店の店頭に並びます。



第10回J Aしまね西いわみ地区本部年金友の会益田地区親睦ゴルフ大会

J Aしまね西いわみ地区本部は11月22日、益田市美都町のひだまりパークみとにおいて第10回年金友の会益田地区親睦ゴルフラウンドゴルフ大会を開催しました。

開会式で岡崎正照益田支部長、西いわみ地区本部田村清己本部長は共に「景品を楽しみに優勝を目指して頑張りましょう」と挨拶し、プレー上のルール説明の後、24組に分かれ一斉にスタートしました。

秋も深まり肌寒さを感じる中、選手の皆さんはプレーを重ねるごとに身体も温まり、33本のホールインワンショットが出るなどハイスコアの戦いとなりました。

益田・美都・匹見各支部から112人の会員の皆さんが参加し、ラウンド成績を気にしながらも親睦を図りながら楽しく3ラウンドをプレーしていただくことができました。



左から準優勝の中島茂代さん、優勝の田原峰雄さん、3位の高橋恭二さんです。



田村清己
本部長



岡崎正照
益田支部長



津和野町と津和野町議会へ要請書を提出



津和野町役場本庁舎を訪問し下森博之町長、草田吉丸町議会議長に「令和7年度津和野町農業関係政策・予算に関する提案・要請書」を提出しました。はじめに、永田会長が「依然として資材価格の高騰等各生産組織が抱える課題は山積しており、本年も各組織からの声を要請書にまとめましたので宜しくお願いします」と挨拶し、事務局であるJAしまね津和野支店松浦利幸支店長が、全体的な重点事項として「多様な担い手確保と就農支援」「有害鳥獣被害防止対策の強化」を掲げ、津和野町各生産部会からの意見を盛り込んだ要請書の内容を説明しました。

それぞれの生産組織における課題や支援依頼の説明を受けた下森町長は、「色彩選別機の導入にはいくらぐらいかかるのか」といったそれぞれの課題について質問をした後「組織の実情をしっかりと把握し、支援等有効な対策について担当課と協議したい」と話されました。

津和野町農政会議（永田寿秋会長）とJAしまね西いわみ地区本部（田村清己本部長）は11月25日、

益田市と益田市議会へ要請書を提出



これに対し山本市長は「益田の農業は地域の基幹産業であり、中山間地域が活力を維持するうえでも、安定した基盤の中で農業経営していただくことは大変重要で、それぞれの課題を検討した上で今後の農業施策を進めていきたい」と話されました。

益田市農政会議（岩本和雄会長）とJAしまね西いわみ地区本部（田村清己本部長）は11月25日、山本浩章益田市長と、福原宗男同市議会議長に「令和7年度益田市農業関係政策・予算に関する提案・要請書」を提出しました。

岩本会長は「地域農業対策としては、農業の担い手不足に対する引き続きの支援対策を講じていただきたい。また、学校給食への地元農産物の食材提供を強化していただきたい。水稲農業対策については、今年産米の買入れ価格が持ち直したとはいえ資材価格は高止まったままで、水稲農家の収入確保の観点からも品質向上対策につながる、色彩選別機の導入に対する支援をお願いしたい。園芸農業対策としては飯田選果場・喜阿弥集出荷場・益田育苗センターも老朽化しておりそれぞれの課題解決に向けた支援をお願いしたい。併せて肥料燃油等資材価格の高騰対策支援をお願いしたい。イノシシ・サル等鳥獣被害対策の予算拡充を引き続きお願いしたい」と内容説明を行い要請書を手渡しました。



農政会議支部会員が視察研修

益田市農政会議二条支部（和田恵教支部長）は11月7日、同支部から程近い津和野町中山の奥ヶ野を視察し、全国の集落営農の先駆けとなった農事組合法人おくがの村の取り組み等について糸賀盛人代表から説明を受けました。

糸賀代表は今から37年前、地域内の合意形成を図り将来の農業の存続をかけて「地元小さな農協をつくろう」と、全国で初となる集落営農型農事組合法人を立ち上げました。

同支部においても中核的な担い手となる集落営農型農事組合法人が存在し、若い認定農業者とのすみ分けて農地の受け皿となって耕作放棄地の増加を食い止めています。

視察に参加した中には、高齢化等による労力の低下や永年鳥獣被害と闘いながら、先祖伝来の農地を守り続けている盟友の方もあり、法人で所有する農機具や効率化を重視した圃場整備の状況について質問していました。こうした質問に糸賀代表は「これからの農業で重要なことは農地の確保ではなく管理。圃場整備によって農地面積が減少しても、管理がし易い圃場でなくては維持につながらない」と話しました。

行政を跨いだ隣町の農業者の視察訪問とあって、日頃糸賀代表が思いを巡らす応接室のストーブを囲み、お互いの農業現場における問題点など会話は弾んでいました。



全圃場の周囲を幅2メートルの畦畔で囲んだことで、作業効率が向上した旨の説明を受けました。

益田市西部農事組合法人連携協議会 令和6年度総括意見交換会

JAしまね西益田支店管内の8法人（とよた農産・おおずえ・豊郷・丸山の郷・あとむ・アグリ向横田・横尾衛門・城九郎）で組織する益田市西部農事組合法人連携協議会（松本要代表）は11月30日、豊田公民館会議室において令和6年度を総括する意見交換会を行いました。

各組織からは代表以外にも複数人出席し、今年の水稲・大豆の収量等の報告に合わせ、カメムシ被害やイノシシ等による獣害など様々な角度から意見が出されました。

主要作物の収穫作業を終え各組織が間もなく決算を迎えるこの時期、1年を振り返りお互いの状況を確認することで組織間の有効な連携を模索しています。

新たな食料農業農村基本法が制定され、法律に基づく基本計画の内容に農業者は大きな関心を寄せており、同協議会の各組織も同様に厳しい現状の打開につながる基本計画の策定に期待しています。





詐欺被害防止に対し警察から感謝状



J Aしまね益田東支店で10月7日に発生した、振り込め詐欺を未然に防止したとして10月29日、益田警察署において感謝状の贈呈式が行われ、大庭伸次支店長・大畑正一金融共済課長補佐が出席しました。

撮影後の歓談で中尾節也署長からは「水際に防いでいただきありがとうございます。顧客の財産を守るといふ強い意識を持っておられ大変心強く思っています。顧客の皆さんからも高い信頼を得ておられるのだと感じました」といった発言がありました。

当日の対応について大庭支店長は「高齢の女性が携帯電話で話しながら、ATM操作を行っておられたので、サポートの気持ちもあって声をかけた。ご本人にも動揺があり電話を代わって相手方と話したところ、会話の中に不審な点が多々あったので警察に通報した」と語りました。

大畑課長補佐は今後の被害防止について聞かれ「これから年末にかけて増加しかねない詐欺被害を無くすためにも、顧客とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を第一として一歩踏み込んだ対応をしていきたい」と話しました。

益田中央支店で防犯訓練を実施

J Aしまね益田中央支店（伊藤達男支店長）は益田警察署の協力で11月19日、慌ただしい年末の金融機関を狙った強盗を想定した防犯訓練を行いました。

金融業務が終了した窓口にて、最初は小声で「金を出せ」と言われて現れた犯人役の警察官も、段々と大声になり「動くな、これに金を入れろ」とナイフのようなものを窓口職員に突きつけました。状況を察知した店内の職員は、事前に決められた役割を確認し、興奮する犯人に「落ち着いてください」と伊藤支店長が声をかけ、現金の用意をするよう職員に指示していました。

指定した袋に現金を詰めさせた犯人が支店を飛び出し、乗りつけた車で逃走すると、追跡役の職員が一斉に後を追いつ、カラーボールを犯人に向けて投げた職員、車の車種やナンバーを控える職員と手分けをして対応し、通報を受けて到着した警察官へ発生状況や犯人像・逃走車両について報告しました。

一通りの訓練を終え、支店職員全員で初動対応の確認を行い、訓練に立ち会った益田警察署や防犯協会の方から気づいた点等について指導を受けました。



訓練とはいえ店内は緊張で静まり返りました。



カラーボールを犯人に向けて投げる練習も行いました。



通報からわずか5分程度でパトカーが到着しましたが、非常に長い5分間でした。



訓練を終えて改めて初動対応などの確認を行いました。



津和野青年クラブと女性部の餅つき

津和野町農業青年クラブ（齋藤優作会長）と西いわみ女性部津和野支部（中川美恵子支部長）は11月15日、太鼓谷稲成神社の秋季大祭に併せ、JAしまね津和野支店前で餅つきの実演販売を行いました。

45kgの地元津和野町産のモチ米を、青年クラブのメンバーが杵でつき上げ、待ち構えた女性部との連携で素早く餡子餅や草餅などに仕上げていました。

この日は秋季大祭とあって支店前を通る参拝客も多く、杵を振り下ろす姿に足を止めテーブルに並ぶパック入りの餅を選んで買い求めていました。

恒例のこの餅つきを楽しみにしている地元ファンもあり、つきたての餅が入った袋を両手に提げ、帰って行かれる方もありました。



青年クラブと女性部の協力で約300パックの杵つき餅は早い時間に完売しました。



振り下ろす杵は強力がつ高速！つき上がりも早い。



海外からのツアー客も雨宿り。手袋を渡され餅づくりに飛び入り参加していました。



翌週11月23日の太鼓谷稲成神社新嘗祭には、神社境内で第57回農産物品評会も行われ、新鮮野菜の販売や、秋季大祭同様青年クラブと女性部による杵つき餅の販売も行われました。

JAしまね西いわみ女性部 下本郷支部生活研修

11月16日、JAしまね西いわみ女性部下本郷支部（小方美津子支部長）は、益田市美都町二川ぬくもりの里（旧二川小学校）において生活研修会を開催しました。この施設は市立宿泊交流センターとして交流を目的に利用できるもので、この日は参加者全員で家の光9月号掲載の米袋バッグを作成しました。また、同センターの職員の指導を頂き、自分たちの手作りピザを作って石窯で焼き上げ、舌鼓を打ちました。少し具の多いピザとなった方も多かったですが、参加者から大変好評を頂きました。





内谷地区とちの実交流会

益田市匹見町内谷地区のとちの実会（村上巴代表）は11月14日、石谷老人福祉センター・旧石谷小学校体育館を会場に「とちの実交流会」を開催しました。

この交流会は今年で25回目を数え、益田市立匹見小学校の3・4年生の児童5人と関係者等25人が参加し、とちの実の皮剥きや杵での餅つきを体験しました。



村上代表から「へし」と呼ばれる道具を使って行う皮剥き作業の手ほどきを受けた児童たちは、慣れない道具の扱いに苦慮しながらも、きれいに剥けた実を見せ合ってはお互いに称え合っていました。皮剥きが終わった実はこの後木灰と混ぜ合わせ、最も重労働とされるアク抜きの作業（清流に浸す等）を経て風味のある山の食材へと変わります。



アク抜きまでの作業を体験した後、準備されていたもち米も蒸し上がり、ヨモギ餅・とち餅をそれぞれ杵でつき上げ、会の皆さんと一緒に平餅・餡子餅に仕上げていきました。



昼食を挟んで児童の皆さんから手作りクイズが出題され、グループに分かれた参加者と一緒になって名前当てやしりとりをして楽しみました。



昼食は朝早くから会の皆さんによって準備された、地元の食材を使った酢物・豚汁・炊き込みご飯と、つきたての餡子入りとち餅とヨモギ餅を参加者全員でいただきました。



簡単そうに見えてなかなか上手く出来ない餡子餅。

令和6年度 地域貢献 地域活性化団体活動表彰「内谷とちの実会」

J Aしまね（石川寿樹組合長）が進める地域貢献・地域活性化支援事業において、匹見町の内谷とちの実会（村上巴代表）の活動が評価され団体活動表彰を受賞しました。

11月14日、この日は予てから計画されていた年に一度の「とちの実交流会」の日、西いわみ地区本部の椋木鉄也統括部長が、交流会の会場を訪れ村上代表に賞状を手渡しました。



昭和30年代には、85戸250人以上の人口があった内谷地区も、高齢化が進み地区外に住む家族を頼って他出する人が増え、地元の衰退を懸念した女性組織等の役員が、昭和58年地域活性化に向けた取り組みを開始し、昭和61年に4家族夫婦8人で「内谷とちの実会」を結成、地元で古くから伝わるとちの実を利用した「とち餅」づくりがスタートしました。

地産地消の取り組みは口伝えに広がり、島根県内はもとより県外からも注文が入るようになりました。

様々なイベント等を企画し地区外からこの地域を訪れ、澄んだ水と空気に触れリフレッシュして帰ってもらう。村上代表は「身体が動く限りは農地・集落を守り、とち餅が食べたいと言ってもらえる限り頑張りたい」と話しました。

こうした取り組みが評価され今回の受賞となりました。



20年の節目を迎えた 赤雁農村歳時記収穫感謝祭

益田市の有限会社赤雁の里（渡邊一行代表）とJAしまね西いわみ地区本部は11月17日、赤雁の里交流館周辺を会場に、「20周年収穫感謝祭〜赤雁同窓会〜」を開催しました。

開会にあたって渡邊代表は「20年前からこうした取り組みを進め、当時参加した人も大人になってお父さん、お母さんと呼ばれるようになった。今日も一昨年・昨年と継続して参加してくれている子どもたちもいて大変嬉しく思っています。4年ぶりとなるこの収穫感謝祭を大いに楽しんでください」と挨拶しました。

続いて挨拶に立った同地区本部の田村清己本部長は「水稲をはじめ農作物は嘘をつかない。天候に正直に育つ。農業や自然を通じて正直さ謙虚さを学んでもらいたい。嘘はつかない、約束は守る、間違っていたら素直に謝る、人の悪口は言わない謙虚な大人になってもらいたい。地域の方々は皆さんを見守ってくれています。すくすくと育ってください」と話しました。

毎年春の田植えに始まり真夏の生き物調査、残暑が厳しい中での稲刈りと、稲の生育に併せた農業体験を通じて、農業の持つ重要な役割や食の大切さを、参加した子どもたちに理解してもらおうと、「まずは地元農業の応援団を作ろう」代表の父哲朗さんのこの一言が基となって始まり、これまで延べ約2千人以上の参加者や関係者によってこの取り組みが支えられ今日を迎えました。

幼い頃から自然の中で育んだ自らの体験が、次世代へと語り継がれ受け継がれていくことで、農業の理解者「応援団」は毎年確実に育っています。



ジャンボ巻きすしづくり。雨模様のためテント内で行いました。



田村清己本部長挨拶



渡邊一行代表挨拶



雨の中でも餅まきは行いました。



毎回提供される女性グループの手作り料理は好評で、この日も豚汁・いなり寿司をいただきました。地元有志によるおでん・焼き芋コーナーも人気でした。

益田東支店（大庭伸次支店長）もミニゲームコーナーで祭りを盛り上げました。



初回から哲朗さんと二人三脚でこの事業に携わってきた妻の渡邊育子さんは「実はこの人がこの農村歳時記を始めました。写真の中で大変喜んでます。元気に年を越してまた来年も参加してください」と語りました。



降雨のため一旦中止を選択した上吉田神楽保存会の皆さん。それでもめでたい日だからと、時折雨の降る中、恵比寿舞だけでもと披露してくださいました。



J Aしまね西いわみ女性部が 地区本部役員・各部支店長と意見交換

J Aしまね西いわみ女性部(元岡タツ子部長)は11月21日、西いわみ地区本部会議室において地区本部役員・各部支店長との意見交換会を行いました。



開会にあたり元岡

部長は「皆さんの忌憚のない意見をいただき、今後の活動に活かしていきたい。今後もJ Aの協力をお願いしたい」と挨拶しました。

一方、田村清己本部長は「先般J Aの方向性を決めるJ A全国大会に出席し、様々な課題がある中、やはり基本に忠実な事業運営が大事だと感じた。J Aしまねにおいても今後の方向性を慎重に議論し進めていく」と挨拶し、お互いの出席者が自己紹介を行った後意見交換に入りました。

営農部門においては、「秋の収穫前に届く翌年の肥料の注文書は早いのではないか」といった資料購入に関する質問や、葬祭事業に関する意見等がありました。金融部門では、ATMコーナーに関する意見や各種キャンペーンに対する意見要望があり、企画総務部門に対しては女性部の活動の現状報告や要望、利用しているJ Aの施設整備等の意見がありました。

これに対して各部門の部長・統括支店長が説明回答を行い、中には内部協議・検討を要する意見もあり、今後お互いの組織運営に活かせる貴重な意見交換となりました。

益田東支店管内の女性部が合同で視察研修旅行を実施

J Aしまね益田東支店(大庭伸次支店長)管内の女性部4支部(安田・鎌手・北仙道・美都)は10月28日、合同で視察研修旅行を行いました。

親睦を図ることを目的としたこの企画に41人が参加、出発時の小雨模様も目的地広島市に到着する頃には、時折雲の合間から日差しもこぼれる過ごしやすい天候となりました。

広島市西区にあるJ A全農Aコープ株式会社を訪問し、永年「Aコープの酢」の製造を手掛ける大興産業株式会社の担当者から、製品によって異なる味や使用方法について試食を交えた研修を受けました。



↑研修会終了後、参加者からは様々な意見・質問の手が挙がっていました。

←今回同行した大庭支店長は「心配だった雨も上がり、心地よい秋の一日を過ごしていただくことが出来た。日頃からそれぞれの支部には活発な活動で支店の後押しをしていただき大変感謝している。今後もJ Aとして女性部の活動に積極的に参加していきたい」と話しました。



研修会を終えフェリーで安芸の宮島に渡り、昼食を済ませ、しばらく自由に買い物や島内を散策しました。





益田グリーンセンター大感謝祭開催

J Aしまね西いわみ地区本部益田グリーンセンターは11月15日・16日の両日、大感謝祭を開催しました。

恒例となったミニアグリミーティングも並行開催し、金融共済担当職員による農業融資や共済相談コーナー、TACによる1日農業バイトデイワーク・お米の重量当てクイズを実施しました。更には衛星画像とAI分析による最先端の栽培管理支援システム「ザルビオ」の体験コーナーも設置し、圃場ごとの状況分析で最適な作物の栽培管理を実現するスマート農業の一端を紹介しました。

J A全農島根農機サポート(株)西いわみ営業所も協力、トラクター・コンバインなど大型機械や大型ドローンなども展示し、足を止めていただいた来場者には、パンフレットなどを参考に詳しく説明をしていただきました。時折小雨が降る中多くの皆様にご来場をいただき誠にありがとうございました。



2日間とも山陰種苗(株)大畑整社長によるタマネギの栽培講習会が開かれ、多くの受講者に播種から定植を終えて収穫までの管理について留意すべき点等の説明が行われました。



ミニアグリミーティングのコーナーでは様々なご相談を受けました。



トラクター・コンバインといった大型機械から小型農機具、更には防除用の大型ドローンも展示。



シクラメンなどの花・柑橘類を中心とした苗木・野菜プラグ苗の販売コーナーも人気でした。

11月西部子牛市場成績 (税込)

(単位：円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均体重
益田市 (益田)	雌	34	576,400	400,400	487,533	294
	去勢	48	815,100	357,500	620,113	330
	計	82			564,732	315
益田市 (美都)	雌	2	419,100	227,700	323,400	296
	去勢	0				
	計	0			323,400	296
益田市 (匹見)	雌	3	465,300	385,000	411,767	279
	去勢	3	559,900	256,300	439,267	327
	計	6			425,517	303
津和野町 (津和野)	雌	0				
	去勢	2	554,400	441,100	497,750	288
	計	2			497,750	288
津和野町 (日原)	雌	5	772,200	350,900	539,440	314
	去勢	5	664,400	507,100	556,600	309
	計	10		350,900	548,020	312
吉賀町 (柿木)	雌	0				
	去勢	2	601,700	245,300	423,500	293
	計	2			423,500	293
吉賀町 (六日市)	雌	1	440,000		440,000	314
	去勢	0				
	計	1			440,000	314
西部市場 総合計	雌	47	772,200	227,700	475,583	295
	去勢	79	815,100	245,300	587,343	325
	計	126			545,546	314

畜産

11月の子牛市場

11月19日に雌47頭、去勢79頭、計126頭の上場により、令和6年最後となる11月の西部家畜市場が開設されました。年始から全国的な相場下落が続く中、11月に入ってから全国の相場が上昇傾向であった為、市場価格の上昇が期待されました。平均価格が雌476千円(前回は102%)、去勢587千円(前回は103%)、計546千円(前回は103%)と、前回市場より平均価格が17千円ほど上昇しており、年末から年明けにかけての相場の変動が注目されます。

今後も購買者に支持されるよう①発育良好な牛、②肋張りの良い牛、③肢蹄のしっかりした牛を目指して「子牛飼育マニュアル」の実践に努めて頂きますようお願い致します。

次回の市場開設日は令和7年1月14日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は寒冷対策などをおこない、事故や疾病等無いよう、お願い致します。





まちむらネットワーク

J Aしまね西いわみ地区本部 組合員親睦ゴルフコンペ開催

J Aしまね西いわみ地区本部は萩・石見カントリー倶楽部で11月24日、第12回J Aしまね西いわみ地区本部組合員親睦ゴルフコンペを開催し、管内から104人、28組が参加しました。

ベストグロススコアが75とハイレベルな中にも、参加者はお互いに声を掛け合いながら終始和やかな雰囲気の中で18ホールに挑み、充実した楽しい秋の一日を満喫していただきました。



読者の俳句・川柳

お題「帰省」

2月のお題は「恵方巻」です
ご応募お待ちしております

※締切※
令和7年
1/15
(当日消印有効)

- | | | |
|----------------------|--------|----------|
| 帰省待つ 親の心が チトわかる | (益田市) | 野村 芳子さん |
| 春に立ち 初の帰省に 初みやげ | (益田市) | 岡崎 雄一さん |
| じいじはば 孫子の帰省に ゆるむ顔 | (益田市) | 佐々木いさ子さん |
| 帰省して あだ名呼び合う 幼な友 | (益田市) | 柳井 文江さん |
| 年毎に 成長うれし 帰省の子 | (益田市) | 村上登美子さん |
| 帰省待つ 息子の顔と 妻のごちそう | (益田市) | 和崎富久代さん |
| 大雨で 帰省出来ない 山口線 | (益田市) | 喜村 信江さん |
| 車窓から 見える風景を 思いだす | (益田市) | 寺井 俊雄さん |
| みやげ無 元気な姿 いちばんよ | (益田市) | 加治イトヨさん |
| 久しぶり わが子の帰省 はなしさく | (益田市) | 澁谷美保子さん |
| 帰省した 孫と語らう 声がわり | (益田市) | 田中 茂子さん |
| 故郷へ 帰省し想う 安堵感 | (益田市) | 加藤 富之さん |
| 嫁に行き 初の帰省で 懐かしむ | (益田市) | 小笠原かよみさん |
| 帰省した 孫の成長 うれしいね | (益田市) | 両見かすみさん |
| 年越しを ふるさとで過す 帰省バス | (益田市) | 宅野ミツ代さん |
| 帰省して 昔と変らぬ 我がふる里 | (益田市) | 初山 敏子さん |
| 子が帰省 きょうから品数 一つ増え | (益田市) | 齋藤 照平さん |
| 帰省する 孫は可愛く なったはず | (益田市) | 竹田 和夫さん |
| 母恋し 遠いふる里 帰省する | (津和野町) | 大井 守さん |
| 孫連れて 帰省を喜び 大騒ぎ | (津和野町) | 日熊 春子さん |
| ジジババは 孫の帰省に エビス顔 | (津和野町) | 大羽 克己さん |
| 帰省する 別の涙 声もかれ | (津和野町) | 豊田 往野さん |
| 思い出を いっぱいつめて 帰省する | (津和野町) | 藤井 礼子さん |
| いつ帰る? 3日も居れば もう帰れ! | (津和野町) | 齋藤 久衛さん |
| 帰省して 喜び飛びつく 孫とババ | (津和野町) | 古山 包子さん |
| 帰省する 孫の電話に 頬ゆるみ | (津和野町) | 三浦 保子さん |
| みやげはいいよ 孫の帰省が 待ちどおしい | (津和野町) | 桑原八恵子さん |
| 無人駅 盆の帰省で にぎやかに | (津和野町) | 中野 健二さん |
| 帰省の子 栗の甘さや 子の笑顔 | (吉賀町) | 田村 民子さん |
| 餅頬張る 孫の笑顔に 又会へる | (吉賀町) | 竹中 和博さん |
| ばあば元気? 孫の帰省で 老い笑顔 | (吉賀町) | 中村恵己子さん |

応募方法 ●葉書に 俳句か川柳かを明記してください。住所、氏名、電話番号をご記入ください。 ●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課



西いわみ地区本部からのお知らせ

令和6年産米の出荷積上げ運動へのご協力をお願い

平素は、当JAの事業について格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当JAでは、島根米を長年取扱いいただいている県内外の販売先(実需者)に対して、お互いの信頼関係のもと、安定的な販売を心がけています。

令和6年産米につきましても、引き続き販売先の要望数量に応え、安定的な数量を供給することで、島根米の有利販売(売り場の確保など)に繋げる必要があります。

皆様の生産されました優良な島根米を1袋でも多く販売先に供給し、多くの消費者の方に喜んで食べていただけるよう、「出荷積上げ運動」を実施いたします。

何卒趣旨をご理解の上、**当JAへの出荷**にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

尚、出荷の際の検査日程については、**営農経済部米穀課**までお問い合わせ下さい。また、「ふるい下米」についてもJAへの出荷にご協力をお願いいたします。

注 検査の都合上、令和6年12月23日以降の出荷申込み分につきましては、一般米扱いとなります。

JALまね 西いわみ地区本部 営農経済部 米穀課 TEL0856-23-1911

調査・お見積 **無料**

断熱リフォーム

足元快適

家族みんなが 安心・快適ね!!

発泡ウレタン施工

床下断熱

お問合せ・お申込みは...

西いわみ地区本部 経済課 ☎0856-23-0914
益田市中吉田町1001-1

JA全農基本契約業者「株式会社 益田玉商会」特約施工店

取扱業者 **株式会社 コタマサイエンス** 益田営業所 ☎0856-22-5390
〈本社〉〒690-0048 松江市西嫁島2-8-23 〈営業所〉松江・江津・隠岐・鳥取・倉吉・米子・広島
コタマサイエンス 株式会社 www.kodama-s.co.jp

メガネ・補聴器の専門店

1級 眼鏡作製技能士

認定補聴器技能者

移動型店舗 店長 狩野 昭弘

運転用、読書用、パソコン用、遠近両用でも

メガネ一式

¥13,200~

税込

『移動型店舗 パリミキカー』
メガネ&サングラス 300本~

お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎090-6955-1612 へ お気軽にどうぞ

令和7年 1月度 JA巡回スケジュール

西いわみ地区

6日(月)	9時~12時	西益田支店	20日(月)	9時~12時	中西事業所
	13時~16時	益田中央支店		13時~16時	益田グリーンセンター
7日(火)	9時半~13時	津和野経済C	21日(火)	10時~15時	パリミキフェア 美都事業所(会議室)
8日(水)	9時半~13時	匹見事業所	22日(水)	9時半~13時	匹見事業所
9日(木)	9時~13時	日原経済C	23日(木)	9時半~13時	柿木事業所
10日(金)	10時~13時	六日市経済C	24日(金)	10時~15時	Aコープ ラボ店 (益田東支店)



JAの普通傷害共済

突然のアクシデントに対応～あなたの愛する人やあなたの暮らしを頼もしくバックアップ～

1万人集団契約で共済掛金割安のチャンス!!

○手続きは簡単！診査は不要です！

ご加入の際は、医師の診査は必要ありません。所定の申込書に簡単な告知をしていただくだけでOKです。

○治療中でも共済金をお受け取りに
なれます!!

災害でケガをされ、入院または通院された場合、そのケガの部位と症状が確認できれば共済金をお支払いしますのでスピーディにお受け取りできます。*一定の条件があります。

共済種類A型・職業区分1級・10,000人以上の集団加入の場合

共済期間1年、1被共済者につき

共済掛金例

コース	死亡共済金額	部位・症状別治療共済金額	共済掛金
0歳～69歳 おすすめコース	400万円	5,000円	11,860円
70歳～80歳 おすすめコース	400万円	2,000円	7,000円
81歳～99歳 おすすめコース <small>(職業にかかわらず)</small>	50万円	2,000円	8,850円

*共済種類はA型・B型がございます。また、職業・職種区分についての詳細はJAまでお問い合わせください。
*団体加入・個人加入の場合は共済掛金が異なります。

(令和6年4月現在)

お支払例

上記加入例、0歳～69歳コースの場合・・・支払倍率表によりお支払します。

●災害を受けた日から200日以内に入院したとき、
または入院しなかった場合で、通院した日数が5日以上するとき

部位・症状別治療共済金額 × 支払倍率表の倍率

バイクで転倒して頭を打撲し、5日以上通院したとき… **25,000円**
『頭部』『打撲』⇒部位・症状別治療共済金額の「5倍」

階段から落ちて腕を骨折、5日以上通院したとき… **175,000円**
『上肢』『骨折』⇒部位・症状別治療共済金額の「35倍」

交通事故で足を骨折し、入院したとき… **325,000円**
『下肢』『骨折』⇒部位・症状別治療共済金額の「65倍」

●災害を受けた日から200日以内に入院しなかった場合で、
通院した日数が5日未満で治療が完了したとき

部位・症状別治療共済金額 × 2倍



0歳～99歳までご家族そろって加入しましょう!

JAしまね

*この共済の共済期間は1年間です。ご契約者からこの共済を継続しない旨の意思表示がない限り、同一の契約内容で自動的に継続されます。
*ご契約いただく共済金額の設定などについては、次の点にご注意ください。
①部位・症状別治療共済金額は、死亡共済金額との関係で上限が設定されます。②ご契約金額は、被共済者の年齢に応じ、加入限度が設定されることがあります。
また、実際にご契約いただく場合の共済金額については、申込書でご確認ください。
*この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。またご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「傷害共済約款」を必ずご覧ください。
24320320054

各支店へお問い合わせください。



お詫び
と訂正

しまねびより11月号において、掲載の記事に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。
19ページ「たくさんのさつま芋が穫れました」まるに保育所住所(誤)市原町(正)白上町

年末年始業務のお知らせ

この一年ご愛顧いただきまして
ありがとうございました。

一般業務は12月31日から1月5日まで休業いたします。

信用業務	
12月31日～1月5日	窓口業務は休業します。ATM稼働時間については下記の表をご確認ください。

共済業務	
12月31日～1月5日	<p>窓口業務は休業します。交通事故については下記へ連絡してください。</p> <p>フリーダイヤル安心サービス 24時間 365日受付</p> <p>事故等の場合には 0120-258-931 <small>【JA共済事故受付センター】</small> <small>シヨハ クミアイ</small></p> <p>レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には 0120-063-931 <small>【JA共済サポートセンター】</small> <small>レッカーロードサービスは クミアイ</small></p>

グリーンセンター	
益田・津和野・日原・六日市・柿木事業所	
12月30日	休業（棚卸のため）
12月31日～1月5日	休業します。
1月6日	通常通り営業します。

店舗	
Aコープラボ・Aコープますだ中央	
12月29日～31日	営業します。（午前9時から午後7時まで。但し31日は午後6時まで）
1月1日～1月2日	休業します。
1月3日	初売り（午前10時から午後5時まで）
1月4日	通常通り営業します。
Aコープラボ、Aコープますだ中央とも、12月28日～30日はカードポイント10倍セールを実施します。	
めいふる（匹見）	
12月31日～1月5日	休業します。
1月6日	通常通り営業します。

給油所	
ジャスポーツ西いわみ店・益田店	
年末年始も通常通り営業します。（午前6時から午後10時まで）	
匹見SS	
12月31日午後1時～1月5日	休業します。
1月6日	通常通り営業します。

年末年始のATM稼働についてのお知らせ

月日	曜日	稼働形態	稼働時間
12月30日	月	通常どおり	8:00～19:00
12月31日	火	年末の扱い	9:00～17:00
1月1日	水	年始の扱い	9:00～17:00
1月2日	木	年始の扱い	9:00～17:00
1月3日	金	年始の扱い	9:00～17:00
1月4日	土	通常どおり	8:45～17:00
1月5日	日	通常どおり	9:00～17:00



※コーナー以外のJAしまねATMについては、ATMコーナーにより営業日、営業時間が異なります。
詳しくはJAしまねHPをご覧ください。



島根県西部農林水産振興センターからのお知らせ

施設園芸の省エネルギー対策



燃料価格は、国際情勢など複合的な要因により高い水準で推移しています。また、気象庁によると西日本日本海側の今年の降雪量は、平年並みか多い見込みとなっています。

経営費全体に占める燃油コストの割合が高い施設園芸では、省エネルギーにより燃油使用量を削減することは、生産コストの低減を図る上でも、温室効果ガスの排出削減を進める上でも重要な取り組みです。

基本的な実践方法



1.暖房機のメンテナンス

定期的にメンテナンスを行い、暖房機の加温能力を最大に引き出しましょう。



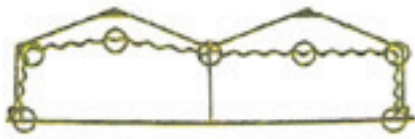
2.太陽熱の利用 (採光の確保)

温室内では、昼間に太陽光により地面に熱が蓄えられ、夜間にその熱は温室内へと放出されることで暖房されます。被覆資材の汚れに注意して、採光を確保しましょう。



3.温度センサーの設置と点検

室内温度が正しく測定できていないと暖房機を過剰に運転してしまい、ムダなエネルギーを消費してしまいます。適切に設置されているか、正常に作動しているか、点検・確認しましょう。



カーテンの隙間がしやすい箇所

4.気密性の向上

気密性を高めることで、経費をかけずに放熱を抑制できます。被覆資材の状態を確認して、隙間の目張りや多層化しましょう。



5.温度ムラの改善 (送風ダクト・循環扇の利用)

温室内の温度ムラの有無や温度差を確認しましょう。温度ムラなどがあれば、送風ダクト、循環扇を利用して改善しましょう。

省エネルギーの取り組みでは、まずは今の暖房方法に無駄なエネルギー使用がないかをしっかりと確認し、ムダを無くした上で、省エネのための設備や技術の導入へと取り組みを進めていくことが重要です。

参考元：農林水産省「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル」

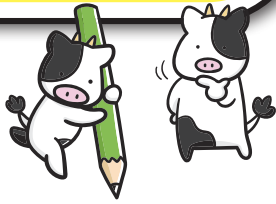
《問合せ先》 島根県西部農林水産振興センター益田事務所 TEL:0856-31-9616

クロスワードパズル

農協全国商品券をもらっちゃおう!!

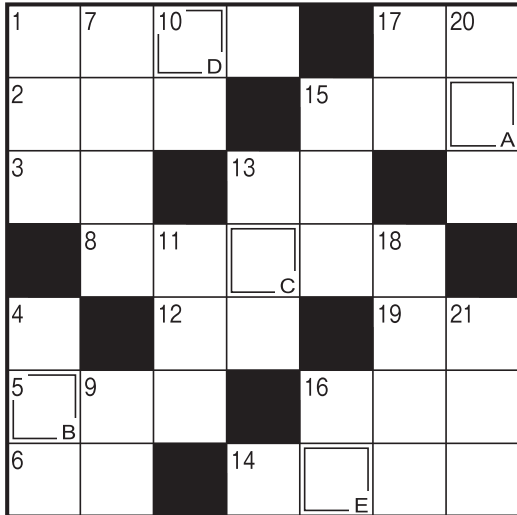
出典：(株)新聞連『JA広報通信』2024年12月号

CrossWord Puzzle



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコロ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タデのカギ

- ①年賀状をコレからSNSなどに切り替える人も増えました
- ④サトイモの親芋のまわりにできます
- ⑦コートなどに用いる毛織物
- ⑨ここで話していても——があかないから見に行こう
- ⑩しんしんと降り積もるもの
- ⑪箱根駅伝は10——、計217.1kmで競います
- ⑬さんずい、うかんむりなど
- ⑮ほうぎに乗って飛べるとか
- ⑯10を3回かけ合わせると
- ⑰縁起をかついで食べる受験生もいます
- ⑱おせち料理に入れる紅白の食材といえ
- ⑳チャールズ・チャップリンは——の王様です
- ㉑可燃ではありません

ヨコのカギ

- ①宝船の絵を枕の下に入れておくとよいのが見られるとか
- ②窓を開けて取り込みます
- ③カード式のホテルもあります
- ⑤中東の国のひとつ。首都はテヘラン
- ⑥きねと白でつくもの
- ⑧「本の虫」と呼ばれることも
- ⑩七草を入れて炊くことも
- ⑬初詣で一年の——を祈った
- ⑭「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- ⑮マスカラを付けるところ
- ⑯脊椎動物にはありません
- ⑰「Rがつかない月には食べるな」といわれる貝
- ⑱耳が冷えないようにイヤー——をつけた

応募要項

応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1

J Aしまね 西いわみ地区本部 総務ふれあい課 「クイズ」係
2025年1月3日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で48人の方からご応募いただきました。

◆先月号の答え◆

「セイカタイ」



「家の光」1月号定価 922円
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！



佳作
良薬は孫の笑顔を待つ夕べ
虫達は自分の好きな時に鳴く
欠点も上手に使い生きてみる
好き嫌い言える幸せ知る入院
帰省する別れの涙声かれる

松江市 後藤 竹子様
松江市 本田 祥子様
出雲市 榎井 伸幸様
江津市 渡津かずお様
津和野町 豊田 往野様

佳作
もの忘れふせぐ薬を飲み忘れ

邑南町 山塚 豊子様

仏壇の前であなたの子に戻る

出雲市 北村 功様

優秀賞
ああすれば良かったなあと思う今

隠岐の島町 上川 晃一様

優秀賞
（評）今日も生きてる私です。その確認の第一歩で、水をゴクリと飲んでみて、旨さを感じ、生きている私を確かめます。

最優秀賞
水ごくり今朝も生きてる水うまい

出雲市 佐野美和子様

川柳の広場
選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

J Aしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）1月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知って得する！ 農業者年金



終身年金で安心！

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「**農業者年金**」に加入して安心で豊かな老後を！

- 農業者なら誰でも入れる「**終身年金**」です！
- 一定の要件を満たす方には、
月額最大 **1万円**の**保険料補助**
- 保険料は**全額社会保険料控除の対象**
など、生涯を通じて大きな節税効果！

詳しくは…
<https://www.nounen.go.jp>

※農業者年金に加入できる方の要件は以下の通りです。

- ・年間60日以上農業に従事している方で、
- ・国民年金第1号被保険者（60歳未満）又は、
国民年金の任意加入者（60歳以上65歳未満）

※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ！



全国の旬のおいしさをお届けするJAグループの頒布会



旬の味覚を
毎月
お届け

旬鮮倶楽部



年1回のお申込みで、毎月カタログからお選びいただいた商品をお届けします。

毎月旬の味覚が届く1年間をお楽しみください。

肉類、野菜、お肉といった国産農畜産物や、それらを使った惣菜やスイーツに加え、

全国各地の名産品やお花も取り揃えています。旬の農物の味を楽しむ、遠方の名産品を旅行気分を楽しむ、お花を見て楽しむなど、様々な楽しみ方が可能です。



WEBアンケートキャンペーン

全国で**600名**様に抽選で
「**簡単便利な冷凍ごはん 3種12袋詰合せ**」をプレゼント！

ご応募
対象者

2025年度4月お届け商品に同封する文書に記載の二次元バーコードまたはURLからアクセスし、WEBアンケートにご回答いただいた方。

アンケートの回答期限は2025年5月31日(土)まで

「旬鮮倶楽部」のカタログのご希望、ご質問、お申し込みはお近くのJAへお問合せください。



ごぼうとさつまいものきんぴらサラダ



コメント

・食物繊維豊富なさつまいもやごぼうで腸内環境を整え、免疫カアップ!
・あと一品ほしいとき、野菜不足が気になるときにおすすめです。

アレンジ

・もっと簡単に作りたい場合は、切った材料を全部レンジで加熱し、水気を取ってからごま油をまぶしてAの調味料で和える。
・Aの調味料の中にツナやかつお節を加えても美味しくいただけます。

材料 (4人分)

さつまいも… 1本 (250g)
ごぼう…………… 1本 (150g)
にんじん… 1/2本 (80g)
みりん…………… 大さじ1
しょうゆ…………… 小さじ2
ごま油…………… 大さじ1
すりごま (白) …… 大さじ3
マヨネーズ…………… 大さじ3
薄口しょうゆ…………… 小さじ2
一味とうがらし…………… 適量

作り方

- ①にんじん、ごぼうは皮をむいて、長さ3~4cmの細切りにし、ごぼうは水につけてアク抜きをしてから水気をきる。
- ②さつまいもは皮付きのままよく洗って、長さ3~4cmの細切りにし、水につけてアクを取ってから耐熱皿にのせ、ラップをしてレンジ(600w)で4~5分加熱して柔らかくする。
- ③フライパンにごま油を熱し、ごぼうとにんじんがしんなりする程度に炒め、みりんとしょうゆで下味をつけ、皿に取り出し、粗熱を取る。
- ④ボウルにAを混ぜ合わせ、粗熱が取れたごぼうとにんじん、さつまいもを加えて和える。

材料 (4人分)

鶏むね肉 (皮なし) …… 300g
木綿豆腐…………… 200g
おろししょうが… 小さじ1
パン粉…………… 大さじ3
酒…………… 大さじ3
マヨネーズ…………… 大さじ1
片栗粉…………… 大さじ2
塩こしょう…………… 3ふり
ごま油…………… 大さじ1
酒…………… 大さじ1
濃口しょうゆ…………… 大さじ1
みりん…………… 大さじ1
砂糖…………… 大さじ1
オイスターソース… 小さじ1
スプラウト…………… 適量
細ねぎ…………… 適量
プチトマト…………… 4個

作り方

- ①木綿豆腐は軽く水切りしておく。
- ②鶏むね肉は包丁で切ったり、叩いたりして細かく刻む。(ある程度でOK!)
- ③ボウルに①と②とAを全部入れてよく混ぜる。
- ④8~12等分にして細長い楕円形に整える。
- ⑤フライパンにごま油を熱して、④を並べ入れ、中火で両面を色よく焼く。
- ⑥Bを混ぜ合わせ、⑤に回し入れて煮からめ、好みのとろみになったら取り出して、スプラウト、ミニトマトとともに盛り、細ねぎを散らす。

コメント

・豆腐でボリュームアップ! 鶏むね肉を使うことでひき肉よりもヘルシーな仕上がりに!
・竹串にさして白ごまを振れば、おせち料理の一品になります。

ヘルシーつくね



クリスマスリース風に盛り付け

アレンジ

・乾燥芽ヒジキや乾燥わかめを戻さず、そのまま入れても美味しくできます。
・Bの調味料のしょうゆをケチャップや味噌に替えて、味変も楽しめます。

健康
散歩

冬の乾燥からお肌を守りましょう

冬になると肌が乾燥し、かさつきやかゆみ、湿疹などの肌のトラブルが増えてきます。皆さんも肌トラブルで困ったことはありませんか? 特に、かゆみはイライラの原因となったり、睡眠を妨げたりなど生活の質の低下につながりかねません。

冬に皮膚が乾燥しやすい原因は、空気中の湿度が低いと、皮膚の水分が蒸発しやすいことや、暖房の使用により室内の湿度も低くなるため、ますます乾燥を加速させてしまうことなどがあげられます。

皮膚が乾燥すると、温度変化や衣服の摩擦、化粧品などの刺激に過敏に反応し、かゆみがおこりやすくなります。また、かゆみを我慢できずに掻いてしまうと、ますますかゆくなったり、湿疹ができてしまったり、雑菌が侵入しやすくなったりするなど悪循環に陥ってしまいます。強いかゆみ、湿疹、ただれ、痛み、熱感があるようなら皮膚科を受診しましょう。

【肌を乾燥から守るための日常生活のポイント】

●室内環境

・エアコンは室内の空気を乾燥させてしまうため注意が必要



です。湿度を上げるため加湿器を使用したり、洗濯物を室内で干したりして工夫しましょう。室内の温度は18~23℃、湿度は50~60%を保つようにしましょう。

●入浴

・体を洗うときにタオルを使う場合、ナイロンタオルは皮膚への刺激が強いため、柔らかいタオル(コットンや洗浄用の皮膚に優しいタオルなど)を使用しましょう。タオルを使用せず手のひらに泡立てた石鹸の泡をつけて優しく洗いをするのもよいです。皮膚への刺激を最小限にしましょう。

・湯温は38~41度くらいを目安にし、時間は10分程度がよいでしょう。保湿効果があり、刺激の少ない入浴剤を使用するのもお勧めです。

●保湿

・入浴後は皮膚の水分がどんどん蒸発してしまうので、すぐに柔らかいタオルで押し当てるように水分をふき取り、その後、保湿剤を塗りましょう。保湿剤は入浴後や朝など1日1~2回塗るとよいでしょう。ドラッグストアなどで様々な保湿剤が購入できますが、迷う場合は薬剤師に相談し、自分に合った継続しやすいものを選びましょう。

JA島根厚生連